



株式会社 高口精密工業

「世界水準の高精度部品を製作
失敗を恐れず挑戦を続ける」



1 工場内にはコンピューター制御の工作機械が並び、社員がプログラムを入力。一個一個の部品を丁寧に仕上げている 2 昨年7月に新築したばかりの本社社屋。社屋裏に第2工場を今年6月に建設 3 1代で会社を築いた高口敏行社長。45年前の創業時に購入した旋盤機は今でも現役 4 超音波を使い、きれいに洗浄された完成部品

今回紹介する企業は、産業用ロボットや半導体製造の機械に組み込まれる部品などを製造する株式会社高口精密工業です。

昭和48年、現在の高口敏行社長（70歳）が高口鉄工所を創業。長男だった高口さんは、家族を養うため、中古の旋盤機を1台購入し、機械部品づくりに奔走。週に2、3日は徹夜しながら働くこともあったそうです。昭和63年に会社を法人化し、会社名を高口精密工業に変更。この頃から産

業用ロボットなどに使う精密な部品も製造するようになります。平成9年に現在の土地に工場を新設し、会社を株式会社化。コンピューター制御の工作機械の導入など設備投資を行いながら、顧客の求める部品づくりと確実な納品、安価なコストで信頼を獲得し、業績を伸ばしていきます。数年前からは、世界で50%のシェアを占めるという血液分析装置の製造メーカーの部品製作も請け負うようになりました。

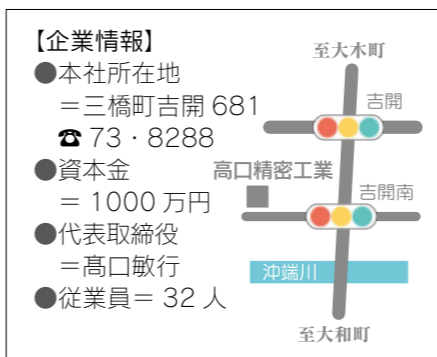
琢磨しながら技術力を上げ、それが会社の信頼にもつながっています。

完成した製品を3次元測定機や画像測定器などを使い厳しく検査するなど、製品の質へのこだわりは世界水準。今年6月に第2工場を本社裏に建設。来年はその北側に、さらに付加価値の高い製品づくりができる第3工場の建設も予定しています。

●社長のひょうたん

日本のものづくりは、日本人の真面目な気質と緻密な計算を試行錯誤しながら独自の発展を遂げてきました。グローバル化した品質、コスト競争の中、わが社で製作している精密部品は世界各地の機械に組み込まれるようになりました。今後も、より一層精密部品製作に挑戦してまいります。

【問】市商工・ブランド振興課商工・企業誘致推進係 ☎77・8762



広報やながわ

No.325 平成30年10月1日号

No.325
10/1
October
2018

広報やながわ
平成30年10月1日号

柳川

Public relations magazine of Yanagawa



【EGO】：今田さんが2015年に制作した、古着物や皮、ガラス、銅線などを使った作品

武家住宅「綿貫家」で創作活動を開始

熊本市在住の芸術家、今田淳子さん（47歳）が、9月12日、三橋町五拾町にある旧綿貫家住宅に移住し創作活動を始めました。同住宅は江戸時代に建てられた、農村部に残る武家住宅。平成27年に市が寄贈を受け、移住体験の他、芸術家による創作活動や文化芸術交流の実践の場とするため、昨年度に改修工事を行いました。

熊本市で活躍する今田さんは、福岡市やイタリアなどでも個展を開くなど、主に立体作品を創作する現代美術家。3か月程度、旧綿貫家住宅で生活し、「命の賛歌」をテーマにした創作活動や、地域の未就学児や保護者などを対象にしたアートワークショップも開催します。

今田さんは、「河川浄化運動などで掘割を再生した柳川には本物があり、本質的な生き方ができると感じます。しっかりと柳川を感じたい」と話しました。

【問】市生涯学習課文化係 ☎77・88030

音韻ボランティア「オルゴール」の協力で、広報紙を音韻してCDやカセットテープに録音した「声の広報」も発行しています。詳しくは、市企画課広報広聴係 ☎77-8425)まで。

●発行 柳川市 / 〒832-8601 福岡県柳川市本町 87-1 ☎0944-73-8111
 ●編集 総務部企画課広報広聴係 (直通) ☎0944-77-8425 FAX74-5520
 ●URL <http://www.city.yanagawa.fukuoka.jp/> ●e-mail kounho@city.yanagawa.fukuoka.jp
 ●フェイスブック「ふるさと柳川」でも情報発信中 ※この広報紙は市公式サイトで公開しています。